

備前市事務事業評価シート

(平成22年度事業)

事業の概要			
事業開始年度	昭和62年度		
総合計画	大項目	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	01 生活しやすいまちづくり
	小項目	施策	10 下水道
事務事業名	04 水洗化普及事務		
根拠法令・例規等			
問 担当課(室)			下水道課
合 職・氏名			業務係長 新庄敬彦
先 電 話			66-9701
このシート作成に要した時間			2.0 時間

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	下水道処理区域内の排水設備設置義務者
目的(何のために)	生活環境の改善と公共用水域の水質保全のため、下水道処理区域内の家屋、事務所等の下水道への接続の促進を図る
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	水洗化率の向上

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	啓発事業	広報紙への記事掲載および未接続者への啓発	
	水洗便所改造資金融資あっせん事務	水洗化工事費に対する銀行融資のあっせんと利子の一部補給	

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
決算額	直接事業費		41	229	17	
	必要人員(人件費)	千円	0.02人	176	0.09人	716
	事業費計		217	945	17	
	国県支出金					
	受益者負担					
	繰入金	千円				
その他(助成金)			200			
一般財源		217	745	17		
受益者負担比率	%	-	-	-		
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
結果指標	融資あっせん利子補給件数	説明	融資あっせん利子補給を行っている件数			
	結果指標量	件	11	11	7	
	対前年比	%	-	100.0%	63.6%	
	活動コスト	円	165,000	167,000	17,000	
単位当たりコスト		15,000	15,182	2,429		

事業の成果					
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
水洗化率	目標値(A)	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%
	実績値(B)	89.3%	90.6%	91.1%	到達目標値
	達成率(B/A)	99.22%	100.67%	101.22%	100%
成果指標設定の考え方・式や説明					
浄化槽利用人口 / 行政区域内人口					

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	妥当性評価 <A~E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	C
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A~E> C
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参加している	有効性評価 <A~E> B

事業の目的やその数値目標がある成果指標に留意しながら

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	引き続き啓発を行う					

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い
下水道整備の目的である生活環境の改善、公共用水域の保全を図るには、水洗化の啓発活動は重要である。	評価区分 <A~E>	C

平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	引き続き普及促進を図っていく					